# 高山市民の森

高山・市民の森は、自然に恵まれ、季節ごとにさまざまな生き物が観察できます。

学習展示施設「森の恵」では、高山の動植物の紹介や林業の仕事、森林のはたらきなど、さまざまな情報を紹介しています。

## しょくぶつ

### ● アケボノソウ

リンドウの仲間で、白い花びらに細かな斑点があり、それを夜明けの星空に見立てたことが名前の由来になっています。

### ● スルガテンナンショウ

サトイモの仲間で毒があります。山地の林内や林縁に生え、4～5月に淡い緑色の花を咲かせます。

### ● エビネ

ランの仲間の多年草で、4～5月に茶褐色から緑褐色の花を多数咲かせます。日本の野生ランでは多く見られる仲間です。

### ● ナベワリ

森林に生育する多年草で、名前の由来は、"なめ割り"の変化したものと言われ、"なめると舌が割れる"という伝承があります。

### ● クサギ

日当たりのよい原野などによく見られるシソ科の植物。葉に悪臭があることからこの名前があります。

### ● ニガナ

耕作地周りから山野にかけて広く生育するキクの仲間で、5～7月に、黄色の花を咲かせます。

### ● シモバシラ

シソの仲間の多年草で、8～10月に白い花を咲かせます。枯れた茎に霜柱ができることで知られています。

### ● ネジバナ

湿り気があり、日当たりのよい草地に生育するランの仲間で、春から秋のはじめにかけて、らせん状に花を咲かせます。

### ● ヒカゲノカズラ

日当たりの良い場所で、地表をはい回るように生育するつる性で常緑性のシダ植物です。幽長いブラシのように見えます。

### ● マタタビ

つる性の落葉樹で、晩秋に果実をつけます。写真の左は、タマバエ類による虫こぶです。キウイフルーツも同じ仲間です。

### ● ホウチャクソウ

ユリの仲間で、4～5月に花が咲きます。花は枝先に1～3個ずつ付いて垂れて咲きます。

### ● ヤブウツギ

スイカズラの仲間の小さな木で、5～6月に濃い赤色の花をつけます。クウツギとも呼ばれます。

## とかげ・かえる

### ● ヒガシニホントカゲ

山地から低地の陽当たりのよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌にします。幼体は青色、成体は褐色です。

### ● ニホンアマガエル

体長3～7㎝くらいのカエルです。単独で草むらや森林などの地上で暮らし、昆虫やクモ類を食べます。

### ● ネバタゴガエル

体長4～5㎝くらいのアカガエルの仲間で、小さな流れ沿いの崖の中や、水たまりなどで卵を産みます。

### ● ヤマアカガエル

体長4.2～7.8㎝赤茶色をしています。キャララ、キャララと鳴きます。

## とり

### ● サシバ　夏鳥

全長50㎝くらいの中型の夕力の仲間。「ピィクイー」と泣き、秋に群れて南方に渡る姿が見られます。

### ● ハチクマ　夏鳥

全長60㎝くらいです。ジバチやハチを好んで食べます。東北から北海道で繁殖し、秋の渡の時に見られます。

### ● コサメビタキ　留鳥

全長13㎝の小鳥です。低山帯の明るい林に渡来し、目の周りが白いのが特徴です。秋の渡りの時期によく見られます。

### ● アマツバメ　夏鳥

全長20㎝くらいで、高山帯や海岸の断崖などに棲み、鎌形の翼で高速で飛びます。静岡市では秋の渡の途中で見られます。

### ● イカル　留鳥

全長23㎝くらいで、大きな太い黄色いくちばしが特徴です。山麓や平地の林の中におり、「キーコーキー」と泣きます。

### ● カワラヒワ　留鳥

全長15㎝くらいの小鳥で、黄褐色で、太いくちばしと翼に黄色が混じっています。雑木林や人家周辺に1年中見られます。

### ● ガビチョウ　特定外来種

全長22～25㎝くらいです。ペットとして輸入され、かご脱けにより定着しました。目の周りの白い斑が特徴。大きな音色でさえずる。

### ● アオゲラ　留鳥

全長29㎝くらいのキツツキの仲間です。日本特産種で、平地から山地の林に棲み、樹に穴を開けて繁殖します。

## むし　トンボ

### ● クロスジギンヤンマ

体長6～9㎝くらいのトンボでオスは腹部にあざやかな青い斑紋があります。5～6月頃によく見られます。

### ● ヤブヤンマ

体長6～9㎝の大型のトンボで、森林に近接した小さな止水域を中心に生息します。幼虫で越冬し翌年の夏に羽化します。

### ● タカネトンボ

体長5～6㎝くらいの細身のトンボで、涼しい環境を好み、周囲を樹林に囲まれた小規模な池沼等に多くいます。

### ● オオアオイトトンボ

体長4～5㎝の鮮やかな金緑色に輝くトンボです。平地や丘陵地の池沼や湿地に生息します。

### ● ウスバキトンボ

体長5～6㎝くらいのトンボです。名前のとおりはねがうすく、体は黄色っぽいトンボです。世界で最も広く分布しています。

### ● オオシオカラトンボ

体長5～6㎝くらいで、夏に出ます。オスは青黒く、メスは黒と黄色の体色です。後ばねの根元に三角形の黒斑があります。

### ● ミヤマアカネ

体長4㎝くらいのアカトンボの仲間です。主に山地にすみ、6～11月に見られます。

### ● リスアカネ

体長4～4.5㎝くらいのアカトンボの仲間です。はねの先端にある褐色の斑紋が目立つ中型の赤とんぼです。涼しい環境を好みます。

## むし　チョウ

### ● ミヤマカラスアゲハ

カラスアゲハをよりメタリックにしたきれいなアゲハチョウです。幼虫はカラスザンショウなどを食べます。

### ● カラスアゲハ

はねを広げると10㎝くらいの大型のアゲハチョウの仲間です。成虫は4～8月に3回ほど発生します。

### ● キアゲハ

ナミアゲハに似ていますが、はねの黄色が濃く、前ばねの付け根は黒ずんでいます。セリ科の植物に産卵します。

### ● ヤマトシジミ

はねを広げても3㎝に満たない小さいチョウです。人家まわりでもよく見られます。成虫は3～11月に見られます。

### ● キタキチョウ

はねを広げると3～4㎝くらいの黄色いチョウです。成虫で越冬し、3～11月に見られます。

### ● モンキチョウ

黄色地のはねに黒色や橙色の紋があるシロチョウの仲間です。成虫は3～11月に4～5回発生します。

### ● ジャノメチョウ

中型のチョウで、はねは一様に茶褐色で、前ばねに2つ、後ばねに1つの眼状紋があります。幼虫はイネ科のススキなどを食草とします。

### ● コミスジ

黒地に白い3本のスジがあり、前ばねの長さは2.5㎝くらいで、春から秋まで雑木林の林縁でみられます。

## むし　コウチュウ

### ● コクワガタ

体長オスで3～5.8㎝くらいのクワガタの仲間で、比較的多く見られます。クヌギやコナラの雑木林によく見られます。

### ● ミヤマクワガタ

大型のクワガタムシです。成虫は6～9月に発生します。クヌギ、コナラなどの樹液に集まります。

### ● ゴホンダイコクコガネ

体長1～1.5㎝くらいの糞虫の仲間です。オスは頭に5本の角を持っています。シカの糞などで繁殖します。

### ● オオセンチコガネ

体長1.3～2.2㎝くらいのコガネムシの仲間です。地域によって金赤、金緑など色が違います。動物の糞を食べます。

### ● ウスバカミキリ

体長3～5.8㎝になる大型のカミキリムシです。夜行性で、飛翔力は高く、灯火によく飛来します。

### ● ヨツスジハナカミキリ

体長1.4～2.2㎝くらいで、前ばねに黒と黄の4本の帯模様がある。花によく集まります。ハチに擬態していると言われます。

### ● カブトムシ

体長3～5.3㎝くらいの大きな甲虫の仲間で、オスには大きな角がある。成虫は樹液を食べ幼虫は土中で腐葉土などを食べる。

### ● ヒメクロオトシブミ

体長0.5㎝くらいの小さなオトシブミ類です。餌とする樹種は幅広く、コナラなどがあります。餌となる木の葉を丸めてぶら下げます。

## むし　バッタ・セミ

### ● ショウリョウバッタ

オスで5㎝くらい、メスで8㎝くらいの大きなバッタです。オスは飛ぶときにキチキチと音を立て、キチキチバッタとも呼ばれます。

### ● ヒロバネヒナバッタ

体長2.5～3㎝のバッタです。つやのない褐色で、腹部先端部附近は赤みを帯びます。夏から秋にかけて見られます。

### ● ナキイナゴ

体長2～3㎝のバッタで、イネ科の群落で見られ、オスは前ばねと後脚を擦り合わせ「ジャ・ジャ・ジャ」と発音する。

### ● クサキリ

体長4～5.5㎝です。成虫は8～10月に見られ夜間に「ジ～」という声で鳴きます。イネ科植物や地の昆虫などを食べます。

### ● ヘリグロツユムシ

体長2.4～3.1㎝くらいで、背側のはねの付け根の黒い縁取りが特徴。成虫は8～10月に出現し、広葉樹の葉などを食べます。

### ● モリオカメコオロギ

体長1.2～1.6㎝くらいの中型のコオロギ。複眼の間に細い白線があります。主に林中や林縁にすみます。オスはリー・リ・リ・リと鳴きます。

### ● ヒグラシ

中型の体長3㎝くらいのセミで、朝夕に甲高いカナカナカナ、と聞こえる声で鳴きます。

### ● ニイニゼミ

小型の体長2㎝くらいのセミで、チー・ジー・と繰り返し鳴きます。6月下旬頃から7月頃に発生します。